

活動計画書

【スポーツ団体大会開催助成】

助成活動細目	競技会開催（競技力向上活動）		
助成対象者名	公益社団法人日本プロテニス協会		
活動名	2018年度ニュージェネレーションテニス全国大会		
優先順位／申請件数	1 位／ 1 件中（スポーツ団体大会開催助成における順位を記入）		
大会種別	<input type="checkbox"/> 国際大会 <input type="checkbox"/> 日本選手権 <input checked="" type="checkbox"/> 全国大会 以下の予選会を兼ねるか (1) オリンピック競技大会 (2) パラリンピック競技大会 (3) アジア競技大会 (4) アジアパラ競技大会 (5) ユニバーシアード競技大会		
	<input type="checkbox"/> 兼ねる <input checked="" type="checkbox"/> 兼ねない		
目的及び期待される効果	活動の特長	左記に該当する場合には、その理由を記入すること	
	<input type="checkbox"/> 高齢者のスポーツ活動の支援		
	<input type="checkbox"/> 障がい者のスポーツ活動の支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> ジュニアの育成・子どもの体力向上	より一層高いレベルで競技をすることで、運動能力の向上をはじめ、メンタルを含めた総合的な能力の開発および紳士・淑女のスポーツであるテニスを通じてスポーツマンシップを学び人間として成長することができるため	
	<input checked="" type="checkbox"/> 女性アスリートの支援	男児のみならず、女児もエントリーすることができることから、高いレベルで競技を行う環境を提供し、女性アスリートの発掘と成長促進へとつなげていくことが可能	
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際競技力の向上	全国から集う精鋭たちと切磋琢磨する機会を設けることにより、競技者の更なるモチベーションの向上に寄与しつつ、自分の限界を超えてライバルと対峙することで身につく試合に勝つ力を身に付けることが期待できるため	
<input type="checkbox"/> スポーツの裾野の拡大			
基金助成金以外の収入の増加に向けた取り組みを行う	<input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	具体的な取り組みを行う場合には、その内容を以下に記入すること。	
	・協賛金獲得に向けた営業活動 ・大会写真販売に向けた制作会社との折衝 ・前年度より参加者定員を増加させ、参加料収入を増やす		
活動予算の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 自己財源確保済 <input type="checkbox"/> 自己財源未確保（助成金の交付がないと活動規模が縮小する場合も含む）		
前年度実績及び当該年度見込（目標）		平成29年度実績（見込含む） ※実施団体のみ記入	
	観戦者数		3,000 人
	助成金以外の活動収入額	円	6,298,000 円
	団体選定の強化指定選手等の全参加者に占める割合	%	%
具体的な活動の内容 （種目・期間・場所・対象者等）	【実施活動の内容】		
	開催会期	2019年2月20日～10月30日（日程調整中、年度をまたいでの実施）	
	開催場所	北九州穴生ドーム（北九州市八幡西区鉄竜1-5-2）	
	参加要件		
	参加予定人数	500名	参加予定国数
	活動の内容	<<概要>> ・全国No.1を決める大会であると同時に、優秀者に対して海外遠征をはじめとした育成プログラムまでを継続して提供することが最大の特徴であり、国内に留まらず世界で通用する選手の輩出を目指す事業。 ・「JPTA ALL JUNIOR TENNIS TOURNAMENT」および「ジュニアスカウトキャラバン」を一体として開催することで、テニス界の将来を明るく照らす才能を見出し開花させる一貫性をもたせることも特徴の一つ。 <<詳細>> 『JPTA ALL JUNIOR TENNIS TOURNAMENT』 U-10、U-12、U-14年代での競技力向上を目的とし、テニスの才能を持つジュニアの選抜強化を推進するための全国大会。 『ジュニアスカウトキャラバン』 身体能力が高く素質を持つジュニアを選抜し、将来的なテニスの強化に向けた原石発掘を目指した取り組み。 ※別紙「開催要項」参照 <<課題>> ・テニス競技の普及も当然ながら必要だが、トップ層の一層の充実、世界ランキング上位に位置することがすそ野を広げる一定の効果を持つと考えられるが、錦織選手に匹敵する選手の育成には一定の時間を要する。 ・日本がテニス強豪国として成長していくためには、ジュニア年代においても、国内での競争だけでなく、世界を相手にした勝負を経て競争力を高める必要がある。 <<展望>> ・テニスの競技力がある選手、運動能力にポテンシャルのある選手を発掘できれば、継続的に支援を行うことでその才能を開花させ、世界トッププレイヤーに挑戦できる人材を育成できる可能性が高まる。 ・現時点では、十分に海外遠征の機会を与えられていないものの、本大会での優勝を機に権利を得て海外遠征を経験することで、当該選手の強化ならびに自チームへの還元が期待でき、全体的な競技力向上が期待できる。	
広報活動	大会の広報活動に関する計画 <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> テレビCM <input checked="" type="checkbox"/> 広報媒体への掲載 <input checked="" type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> その他（ ）		
活動の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法	情報の公開方法 （複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開する <input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行わない	
	公表する内容 （複数選択可）	<input type="checkbox"/> 活動の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、活動の進捗、途中経過を公開する） <input checked="" type="checkbox"/> 活動の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、活動の完了報告を公開する） <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開する） <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない	
備考			